

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公共下水道特別会計繰出金	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	4	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	下水道課			
施策	224上・下水道の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、コスト縮減と特定財源の確保による繰出金の抑制に努めるが、今後の下水道整備計画について、見直しに着手する。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	引き続き、コスト縮減と特定財源の確保による繰出金の抑制に努めるが、今後の下水道整備計画について、汚水処理構想の見直しと併せて、検討する。
②①に基づく取組み結果	当初予算額634,650千円に対し、492,205千円(決算額)に減額し、繰り出し金の抑制に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公共下水道区域内に居住している市民	意図(対象をどうするのか)	公共下水道整備による生活環境の改善
②事務事業の概要	事業認可取得区域の管渠の整備			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	鎌ヶ谷市における公共下水道は、昭和49年に事業着手し、平成26年度末で整備面積約621ha、普及率59.0%となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	地形や周辺環境を鑑み、効率的な方法を検討しながら、小型人孔などを導入しコスト縮減をはかり、公共下水道の整備済の箇所の利用促進を促して特定財源の確保に努め、金利の低い地方債等の借換により繰出金を抑制した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	下水道普及率	57.1	57.4	59.0	%	業務取得
	ii	水洗化戸数	24,740	25,111	25,665	戸	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	354,915	492,205	金額(千円)		内容	625,100	
	国支出金(千円)		492,205		繰出金		
	県支出金(千円)						
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	354,915	492,205			625,100	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	特定財源である下水道使用料を確保し、繰入額の削減を図っていく。各家庭の負担軽減による水洗化人口の向上と維持管理、建設にかかるコストを抑制に努める。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	下水道法各種法令に基づき、公共用水域の水質保全及び衛生的で快適な生活環境を確保するのに必要なものであるため、今後も精査検証を行っていく。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	既成市街地事業 汚水10ha	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	既成市街地事業 汚水4ha	634,650	492,205	当初	634,650	492,205	H25からの繰越	0
				H25→26繰越	0			
				補正	-142,445			
③達成状況	完了			流用・充当	0	現年分	492,205	
④未完了・非着手の理由		平成26年度への繰越額(単位:千円)		0				